

平成26年度 同好会事業報告

子どもの本研究会 同好会 世話係名 宮坂ゆかり 会長名 加藤敦子

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
5 月 2 日	同好会発足会（役員決定・年間計画）	13名
7 月 1 2 日	前期の読書会（本の紹介）	10名
7 月 3 1 日	パネルシアター製作	9名
8 月 4 日	絵本美術館見学	6名
12月20日	後期の読書会（本の紹介）	8名
1 月 2 4 日	講演会（講師：越高令子さん）	20名程度の予想
7・1・2月	同好会だより「絵本の森」発行	3回

今年度は、例年より男性会員が増え、いろいろな方に絵本に興味をもっていただけてうれしく思います。日程の都合で参加できない方もいましたが、毎回、絵本の世界を楽しむ充実した活動ができたと思います。

春は、おすすめの本の紹介と読書会。初めて参加してくださった方も多く、今まであまり紹介されなかったジャンルの本にも出会いました。自分の世界が広がり、有意義な時間を過ごすことができました。夏休みには、ここ数年、行っていた講演会を三学期に移し、絵本美術館めぐりを行いました。同好会が発足した年以来久しぶりに、黒姫図書館、斑尾絵本美術館の二館を訪れました。松谷みよ子さんやエンデの常設展に加え、子どもたちに人気の『こびとづかん』の原画展を見ることができました。子どもたちがどんなところに面白さを感じているのか、少し知ることができたように思います。また、リサとガスパールをはじめ、かわいいグッズもたくさん販売されていて、財布のひもが緩みっぱなしでした。こういうのも原画展ならではのですね。また、恒例のパネルシアター作りも、多くの先生方に参加していただきました。涼しい会館の和室で、おしゃべりしながらも、制作に没頭することができました。どれも力作ぞろいです。初冬には、2回目の読書会を行い、学校の授業で使えるような本や、心の温まる本など、春とはまた違ったたくさん本を紹介し合いました。今後の授業に活かせそうです。

一月末には講演会を行う予定です。初回以来、ずっと講師をしていただいている、小さいうち書店の越高令子さんの楽しいブックトークで今年度の活動は終了です。毎年、新しい視点で講演していただき、様々な本に出会わせてくださいます。多くの方に聞いていただけるといいなと思います。

今年度も先生方と本の世界を楽しみながら、多くの情報を共有し学び合うことができました。学んだことを子どもたちとの学習に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

(子どもの本研究会会長 加藤敦子)